

平成29年7月5日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 | 平成29年度第1回簿記記帳研修会が開催されました。

(ダイジェスト)

平成29年度第1回簿記記帳研修会が6月30日午後、松江合同庁舎会議室において開催されました。この研修会は、松江地区農業再生協議会担い手部会主催で、毎年認定農業者、新規就農者、集落営農事務担当者等を対象に実施しており、今年度6名の参加申し込みがありました。当日は、県農業技術センター技術普及部から講師を招き、簿記記帳の大切さ、仕訳の基本などの講義を受けました。次回からはパソコンを使った記帳の実践を行う予定としています。

当日は、松江地区農業再生協議会担い手部会長（松江市農政課長）から、農業振興における担い手育成が重要であり、この簿記記帳研修の成果を経営に生かして欲しいとの激励の挨拶がありました。

研修は、県農業技術センター技術普及部から講師を招き、簿記記帳の大切さ、青色申告の意義、仕訳の基本などの講義を受けました。その中で、製造業においては、コスト計算は基本中の基本で、それがなければ販売価格を決められないことや、記帳梨で、経営を行うことは、メーター・警告灯のない車を運転するようなものであるというような話がありました。

今年の申込者6名のうち、2名は昨年から引き続いての受講者で、その他2名は認定新規就農者、残り2名は集落営農組織の構成員です。

今回は、パソコンを使わず、講義のみでしたが、次回から月1回を目安にパソコンを使って各自の経営数値を入力して、青色申告や経営診断ができるよう研修を続ける予定としています。



研修会の様子